

山科醍醐こどものひろば
“子どもの貧困対策事業”10年目スタート企画



子ども いきる わかもの を考える

2010年7月18日、アスニーにて「子どもの貧困と地域支援～子どもの生きづらさにどう向き合うか」の緊急シンポジウムを開催しました。その会をきっかけにはじまった夜の居場所活動。あれからもうすぐ10年目を迎えようとしています。この10年でたくさんのこどもと出会い、「なにかできることはないか」と支えてきてくださる人たちが増え、一緒に育ちあってきました。当時はひろばの拠点中心の活動でしたが、今では地域の場所まで子どもの育つ環境が広がりました。

10周年に向け、これまでにできたこと・あの時に作ろうとしてきたことを振り返りつつ、次の5年、10年を地域としてどう迎えるのか、みなさんで深めたいと思います。

一般社団法人こどものみかたプロジェクト
沖縄県子ども総合研究所 所長

堀川 愛

こどもソーシャルワークセンター 理事長

幸重 忠孝

山科醍醐こどものひろば 理事長

村井 琢哉

～メインセッション～

「これから必要なアクションについて
沖縄から実践を学ぶ」

堀川愛さんによる沖縄での活動報告

～クロスセッション～

「こども・わかもの“いきる”に関わる活動」

堀川愛さん × 幸重忠孝さん × 村井琢哉の
3名によるトークセッション。
各地で広がる活動と子どもを取り巻く状況・環境
からこれからの展開を語り合います。

～交流セッション～

「いま、こどもとわかもの“いきる”を考える」

参加者のみなさまとも一緒に
これからについて議論していきます。

7月21日
13:30～16:30

▶ 開催場所…醍醐交流会館

京都府京都市伏見区醍醐高畑町3の1
パセオ・ダイゴロー西館 2F 南

▶ 参加費……無料

▶ 定員……80名

▶ 申し込み

こちらのQRコード
もしくはメールにて
受け付けております



kodohiro@gmail.com

特定非営利活動法人

主催 山科醍醐こどものひろば

本事業は京都市子どもの居場所づくり事業の一環で行います

